

将来の科学人材育成から 見た秋入学の是非

平成24年11月10日（土）10時30分～12時
日本科学未来館 7階 イノベーションホール
定員：100名（入退場自由）

東京大学が提案した「秋入学」が話題となっています。これは、大学の国際化と大学生の意識向上を意図したものとされていますが、現時点では具体的にどのような効果が期待できるのかという検証がされないまま、イメージのみが先行している感が否めません。

ここでは、将来の日本にとって本質的となる科学・技術人材の育成という観点から、この秋入学がどのような意味を持つのか、プラスとマイナスの両面から考察してみたいと思います。

<プログラム>

10:30～10:35 開会挨拶

須藤 靖（日本学術会議第三部会員、東京大学大学院理学系研究科教授）

10:35～10:55 話題提供

「科学人材育成に対する秋入学のメリット」

堀井 秀之（東京大学大学院工学系研究科教授）

10:55～11:15 話題提供2

「秋入学を超えて」

金子 元久（日本学術会議第一部会員、筑波大学大学研究センター教授）

11:15～11:55 パネル討論

パネリスト：堀井 秀之（東京大学大学院工学系研究科教授）

金子 元久（日本学術会議第一部会員、筑波大学大学研究センター教授）

鈴木 清夫（筑波大学付属駒場高等学校数学科教諭）

大竹 暁（文部科学省大臣官房審議官（研究開発局担当））

コーディネーター兼パネリスト：

須藤 靖（日本学術会議第三部会員、東京大学大学院理学系研究科教授）

11:55～12:00 閉会挨拶

秋田 喜代美（日本学術会議第一部会員、東京大学大学院教育学研究科教授）